



令和7年8月25日 第96号
坂本住民自治協議会事務局(坂本コミセン内)
TEL 45-2228・FAX 45-2283
E-MAIL : sakamotojitikyoku@outlook.jp

3つの橋の復旧を祝って ニックネームをつけよう

先月から橋の愛称募集が始まりました。

鎌瀬、坂本、深水、3つの新しい橋の工事が、日々着々と進んでいます。

橋への親しみと感謝を込めたあだ名をつけ復活と開通をお祝いしましょう！

※この事業は、国や県の関係機関との協議を経て実施するものです

期間：11月28日まで
資格：問いません
応募方法：
・3新橋のそれぞれのあだ名
・住所、氏名、年齢、電話番号を明記して、郵送、FAX、メール等でご提出ください。

○1つの橋に応募できる愛称は一人で2つまでです。
○既存の3橋(西部大橋、中谷、葉木)のあだ名の応募も可能ですが、表彰対象にはなりません。

【応募・問い合わせ】
坂本住民自治協議会事務局まで
(本日より左上に記載)

木々子の七夕綱に行ってきました

住民自治協議会ホームページ用の写真を撮るために、中谷の木々子に行ってきました。鶴や亀、人形や卵の藁飾りを1本の綱にぶら下げて、川に張り渡します。集落の川を天の川に見立てて、綱を渡って織姫様彦星様が出会うというロマンチックなお話や、綱を集落の入口に張ることで悪いものを通さないという言われもあるようです。

飾りも意味があり、13個連なった卵で「通さん」と、洒落が効いてますね。

町内外から人が集まり、カメラマンにテレビ、帰省してきた孫ちゃんも集まり大賑わいでした。

3月にえがおウォークで体験を行った方も再び来ていました。

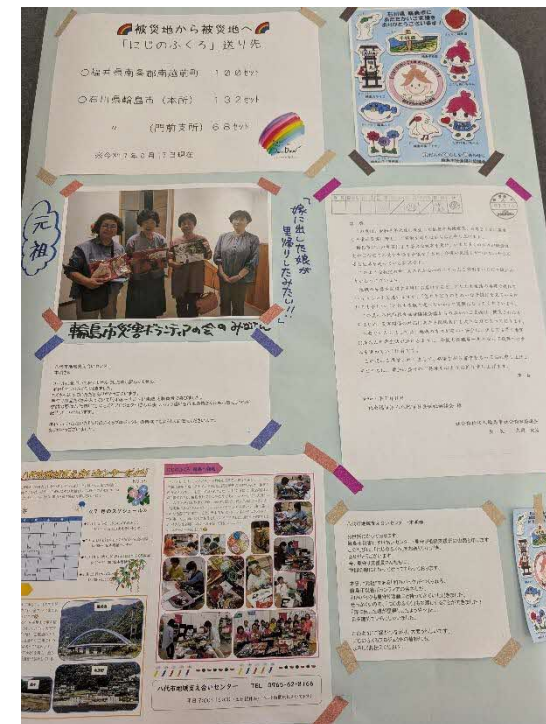


にじのふくろを取材してきました！

この取り組みは2007年に能登半島地震を経験した輪島市から始まりました。

「和みバッグ」「ひよりぶくろ」と名前を変えながら、被災地から被災地へ繋がってきました。

八代からは「にじのふくろ」という名前になり、福井県南越前町、石川県輪島市に届けられました。



民生委員が集めた着物を解いて糸を抜き取ります。

もくもくと作業したり、かと思えば笑い声がどっと湧き起ったり、みなさん楽しく作業をされていました。珍しい柄やつくりの着物は「これすごいね！」と話題になります。

解いた着物をアイロンかけし、筒に巻き付けています。

エアコンが効いた室内ですが、アイロンをかけ続けて熱気がすごい！このあと本町の支え合いセンターでバッグや小物に生まれ変わります。



編集雑記：8月1日で市合併20周年でした。式典で流れた動画は元協力隊の岡部さん作、動画や広報やつしろで使われた20thの文字は松田作でした。動画はつい坂本町ひいきになってしまったとか…(松田)